

令和5年度 決算を認定!

令和5年度決算(一般会計)は、公債償還基金(市の借金返済のために積み立てている基金)を計画外に取り崩すなどの特別の財源対策を実施せず、88億円の黒字となりましたが、引き続き緊張感を持った財政運営が必要です。令和7年度予算の編成に向けて、徹底的に議論しました。ここでは議論の一部をご紹介します。



決算全般

- 何もしなければ財政破綻すると報道された数年後に、過去最大の88億円の黒字となり、本市財政はどうなっているのかというのが市民の実感である。市民に対し、決算や本市財政をどのように分かりやすく伝えるのか。
- 市長は前市長の行財政改革を未来に責任を持つ改革と高く評価しているが、市民負担を増やしたことが妥当という判断は再考すべきである。市民サービスを復元すべき。

子ども若者育成支援

- 民間保育所等での処遇改善を困難にしている補助上限の課題を分析し、制度改革を行うべき。
- 市民が異変に気付いた際にためらいなく通報をすることができるような仕組みづくりと、更なる児童虐待対策の周知啓発に取り組むべき。



防災危機管理

- 要配慮者に係る個別避難計画とマイ・タイムラインを併せて、周知啓発する必要がある。
- 避難所の収容人数の算定に当たっては、通路や支援物資の保管スペースを含めるべきではない。

商工振興

- 経済団体や企業との連携を進め、経済と社会に活力を生むスタートアップ支援や、本市全体の活力向上につなげるべき。
- 生産性向上のための環境整備を行う前に、中小・小規模事業者が賃上げできる環境づくりを支援する必要がある。



交通事業

- 担い手不足の課題解決に向け、全庁で連携して取り組む必要がある。
- 混雑している系統や観光シーズンにおいて、通学途中の小中学生や子連れ世帯、高齢者に対して市バスの市民優先乗車を試験的に実施する考えはあるか。



令和5年度決算(歳出)

一般会計	特別会計	公営企業会計
9,548億円	6,001億円	2,306億円
合計 1兆7,856億円		

※億円未満を端数処理しているため、合計は一致しない。

決算審議の様子を動画でご覧いただけます!

10月8日~11日
決算特別委員会
(局別質疑)

事業の担当局ごとに詳細な質疑を実施



10月30日・31日
決算特別委員会
(総括質疑)

審査の総仕上げとして、市長等に対して一問一答で質疑を実施



▲10月30日



▲10月31日

11月6日
本会議

令和5年度
決算等を議決



第19回世界歴史都市会議(リュブリャナ市)及び姉妹都市ザグレブ市への訪問

11月12日から14日にかけて、リュブリャナ市(スロベニア共和国)で開催された世界歴史都市会議に、西村議長を含む市議員6名が代表団として参加しました。

会議では、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、参加各都市からの取組発表や、意見交換などが行われました。閉会式では「リュブリャナ宣言」が採択され、文化遺産の保護、持続可能な都市開発、文化交流と協力等に共に取り組むことが発表され、西村議長も署名しました。

また、京都市会として、リュブリャナ市議会議員等と交通政策等について意見交換を行いました。

そのほか、姉妹都市ザグレブ市(クロアチア共和国)にある、在クロアチア日本国大使館やザグレブ市役所を表敬訪問しました。市役所では、市長及び同市市議会議員等と意見交換を行い、今後両市間で一層交流を深めていくことを確認しました。



▲「リュブリャナ宣言」への署名



▲リュブリャナ市議会等との意見交換



▲ザグレブ市長及び同市議会等との意見交換